(19) 世界知的所有権機関 国際事務局



(43) 国際公開日 2005年3月24日(24.03.2005)

PCT

(10) 国際公開番号 WO 2005/026185 A1

(51) 国際特許分類7: C07H 19/044. A61K 31/7056, A61P 35/00

(21) 国際出願番号:

PCT/JP2004/014661

(22) 国際出願日:

2004年9月14日(14.09.2004)

(25) 国際出願の言語:

日本語

(26) 国際公開の言語:

日本語

(30) 優先権データ:

特願2003-322550

2003年9月16日(16.09.2003)

(71) 出願人(米国を除く全ての指定国について): 萬有製薬

ば研究所内 Ibaraki (JP). 廣瀬 雅朗 (HIROSE, Masaaki) [JP/JP]; 〒1030026 東京都中央区日本橋兜町 5番 1号 AIG兜町ビル 萬有製薬株式会社 臨床医薬研究所内 Tokyo (JP). 大久保 満 (OHKUBO, Mitsuru) [JP/JP]; 〒 3002611 茨城県つくば市大久保3番地 萬有製薬株式会 社 つくば研究所内 Ibaraki (JP). 荒川 浩治 (ARAKAWA, Hiroharu) [JP/JP]; 〒3002611 茨城県つくば市大久保 3番地 萬有製薬株式会社 つくば研究所内 Ibaraki (JP).

(74) 共通の代表者: 萬有製薬株式会社 (BANYU PHAR-MACEUTICAL CO., LTD.); 〒1038416 東京都中央区 日本橋本町2丁目2番3号 Tokyo (JP).

(81) 指定国(表示のない限り、全ての種類の国内保護が 可能): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR,

group) or a pharmaceutically acceptable salt of the compound.

KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), $\exists -\Box \gamma \ell$ (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IT, LU, MC, NL, PL, PT, RO, SE, SI, SK, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

2文字コード及び他の略語については、定期発行される各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

添付公開書類:

- 一 国際調査報告書
- 請求の範囲の補正の期限前の公開であり、補正書受 領の際には再公開される。

(57) 要約:

本発明は、新規インドロピロロカルバゾール誘導体である、

一般式[I]:

「式中、

Aは、O、NH、又はCH。であり、

 R_1 は、単結合、低級アルキル基、低級アルケニル基、低級アルキニル基などであり、

 R_2 は、フェニル基、ナフチル基、又はN、S若しくはOを少なくとも1 個含む 5 員環若しくは6 員環である芳香族若しくは脂肪族複素環であり(ここで、該フェニル基、該ナフチル基、該芳香族若しくは脂肪族複素環は、置換されていてもよい。)、

Gは、五単糖基又は六単糖基である。]で示される化合物又はその医薬上許容される塩に関する。